

新事業進出促進補助金事業計画骨子記載内容

項目		内容
(1) 既存事業の内容		
	①申請者の概要	自社の概要や現在行っている事業等について簡潔に記載
	②既存事業の内容	現在行っている既存事業の内容を網羅的・具体的にすべて記載
(2) 補助事業の具体的取組内容		
	①新事業進出指針への 該当性	・既存製品等と新製品等の内容を記載をしたうえで、それらの相違点について具体的に記載（製品等の新規性要件） ・既存市場（顧客）と新市場（顧客）の内容を記載したうえで、それらの相違点について具体的に記載（市場の新規性要件）
	②新規事業の内容 ・目的	・補助事業で取り組む新規事業の内容と目的について、具体的に記載
(4) 現状分析		
	①現在の事業の状況	
	②SWOT分析	自社の強み・弱み・機会・脅威を分析したうえで、新規事業を実施することの必要性について
(5) 新規事業の新市場性・高付加価値性 <①と②は選択制>		
	①新市場性	・新製品等の属するジャンル・分野について記載 ・新製品等の属するジャンル・分野の社会における一般的な普及度や認知度が低いものであることを、それらを裏付ける客観的なデータ・統計等を示しながら、説明
	②高付加価値性	・新製品等のジャンル・分野における一般的な付加価値や相場価格について、それらを裏付ける客観的なデータ・統計等を示しながら、説明 ・新製品等のジャンル・分野における一般的な付加価値や相場価格と比較して、自社が製造等する新製品等が、高水準の高付加価値化・高価格化を図るものであることを、高付加価値化・高価格化の源泉となる自社の価値・強みの分析とともに、説明
(6) 新規事業の有望度		
	①新規事業の将来性	・補助事業で取り組む新規事業が、自社がアプローチ可能な範囲の中で、継続的に売上・利益を確保できるだけの規模を有していることや成長が見込まれる市場であることについて説明
	②参入可能性	・補助事業で取り組む新規事業が、自社にとって参入可能な事業であることについて説明
	③競合分析	・競合分析を実施した上で、顧客ニーズを基に、競合他社と比較して、自社に明確な優位性を確立する差別化が可能であることについて説明
(7) 事業の実現可能性		
	①課題及び スケジュール	・補助事業の事業化に向けた中長期での課題及び、事業化に至るまでの遂行方法、スケジュールや課題の解決方法について説明 ・事業実施期間内に投資する建物の建設・改修等の予定、機械装置等の取得時期や技術の導入や専門家の助言等の時期についても、可能な限り詳細なスケジュールを記載
	②事業実施体制	・補助事業を実施するための体制（人材、事務処理能力等）、資金の調達方法について説明 ・既存事業の縮小又は廃止、省人化により、従業員の解雇を伴う場合には、再就職支援の計画等の従業員への適切な配慮の取組について具体的に記載

©2025補助金ナビ

次の各項目は当表では、除外していますが、事業計画としては記載が必要です。

「（3）連携体の必要性 <連携体申請の場合のみ>」、「（8）公的補助の必要性」「（9）政策面」、
「（10）補助対象予定経費」、「（11）収益計画」

新事業進出促進補助金事業計画作成ワークシート

項目		内容
(1) 既存事業の内容		
	①申請者の概要	
	②既存事業の内容	
(2) 補助事業の具体的取組内容		
	①新事業進出指針への 該当性	
	②新規事業の内容 ・ 目的	
(4) 現状分析		
	①現在の事業の状況	
	②SWOT分析	自社の強み・弱み・機会・脅威を分析したうえで、新規事業を実施することの必要性について

(5) 新規事業の新市場性・高付加価値性 <①と②は選択制>		
	①新市場性 あるいは ②高付加価値性	
(6) 新規事業の有望度		
	①新規事業の将来性	
	②参入可能性	
	③競合分析	
(7) 事業の実現可能性		
	①課題及び スケジュール	
	②事業実施体制	

次の各項目は当表では、除外していますが、事業計画としては記載が必要です。

「(3) 連携体の必要性 <連携体申請の場合のみ>」、「(8) 公的補助の必要性」「(9) 政策面」、
「(10) 補助対象予定経費」、「(11) 収益計画」